

〈こども版〉 としょかんだより No.242

わくわく本だな 2004年 4月号

富山市立図書館 富山市丸の内1-4-50 電話 076-432-7272

にゅうがく

しんきゅう

とくしゅう



入学・進級おめでとう特集



「一年生になるんだもん」(えほん)

角野 栄子 / 作 文化出版局



けんこうしんだんや、なまえをかくれんしゅうなど
一年生になるしたくがはじまりました。
いよいよたのしい小学校です。

「トイレにいていいですか」(えほん) 寺村 輝夫 / 作 あかね書房

オムくんは、学校のトイレがきれいです。
でも、こくごのじかんにとうとうがまんが
できなくなり、立ちがりました。



「菜の子先生がやってきた」

富安 陽子 / 作 福音館書店

研出版

春にうかれて、どこかへ行ってしまった
小学校の桜の木をさがすため
菜の子先生があらわれました。
いろいろな学校にとつぜん
やってきては、じけんを
かいけつするふしぎな先生のお話が5つ。



「ユウキ」

伊藤 遊 / 作 福音館書店

ケイタと友だちになった子の名前は、
いつも「ユウキ」でした。
プラモデルがすきだった悠樹、
サッカーなかまだった勇毅。でも、
みんな転校していなくなっていました。
今度もケイタの目の前にあらわれたのは・・・

「ふたりのさっちゃん」

福田 岩緒 / 作 文

はずかしがりやのさっちゃんには
まだ友だちができません。
さっちゃん「こんなふうになれたらなあ」と、ノートに
元気なうさぎの女の子、
さーちゃんを書きました。

「オレンジソース」

魚住 直子 / 作 佼成出版社

松本さんは、じまん屋だと誤解されて
なかまはずれになっています。
でも、松本さんの意外な一面を
知ったみさきは、無視しているのが
だんだんつらくなっていきます。

あたらしくはいった本

= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

えほん



「草花ともだち みつける・たべる・あそぶ」 下田 智美/文 偕成

やわらかなひざしをいっぱいあびて、野山に春がやってきました。
色とりどりの草花と遊ぶ女の子と動物たち。食べたり、染めたり、かざったりして
春の草花といっしょに遊んでみませんか？

「どどこどこ いってきまーす」 長谷川 義史/作 ひかりのくに

ゆうえんちでトイレをさがそう。どどこどこ？
おでんのなべから、たまごこんにやく。どどこどこ？
楽しい絵さがし絵本です。よく見て、みつけてね。



ものがたり

「七海と大地のちいさなはたけ 春のおくりもの」 最上 一平/作 ポプラ社

七海の家では、今年からやさいを作ることになりました。
お父さんは、いっしょうけんめいに畑をたがやしています。そこに、七海と大地は、
小さなたねをまきました。四日めには、あんなかたい小さな種から
芽がでてきました。なんてふしぎなんだろう！
ふたばにさわってみるとぷるんぷるん、とってもいい気持ちがありました。

「こねこムーとリッピーのゆめ」 江崎 雪子/作 ポプラ社

こねこのムーは、旅のとちゅうでカモシカのリッピーと
友だちになりました。そして、リッピーのゆめが、
おかあさんの目と足をなおしてあげることだと知りました。
ある日、どんな病気もなおしてくれる金色の木の实があることをきいて
さがしにでかけた二人は、まいごになってしまいました。



「空にふく風」 長崎 夏海/作 汐文社

ミナモとヒロトは、同じ団地に住んでいるおさななじみです。
ある時、ミナモが見つけた病気のねこを、ヒロトがいっしょうけんめい
かんびょうしてくれました。そんな、やさしいところがあるヒロトですが、
最近、どこかとげとげしいのです。どうしたのかな？



「モンスター学園」

舟崎 克彦 / 作 ポプラ社

村はずれにあるさびれた教会は、ぶきみなうわさでいっぱいでした。
それもそのはず、ここは、ドラキュラのむすめや、
オオカミ男のむすこなどが通うモンスター学園だったのです。
学園では毎晩、モンスターたちが、人間となかよくする方法を勉強していました。



「ワニてんやわんや」

ロレンス・イエップ / 作 徳間書店

いつも、みんなからかわいがられている弟がにくらしくて、
ぼくは、ボビーのたんじょう日に生きているワニをプレゼントしました。
ところが、弟は、こわがるどころかおおよろこび。パーティーに
集まったしんせきの人たちまでワニにむちゅうです。
そこへ、なにも知らないおとうさんが帰ってきたのですが・・・。



「少女探偵サミー・キーズと骸骨男」

ウエンデルリン・ドラネン / 作 集英社

ハロウィーンの夜、サミーと友だちは、きもだめしをしようと、
おそろしい“ブッシュ・ハウス”に近づきます。家に入ってみると、
男の人がいすにしばられて血を流していました。サミーは、
知らず知らずのうちに犯人犯人さがしにまきこまれていきます。



ちしきの本

「義足のキリン たいようの一生」

朝日新聞秋田支局 / 編

講談社

秋田市の動物園で、本当におこったお話です。
赤ちゃんキリンの“たいよう”は、シマウマとぶつかって、
右の前足を骨折してしまいました。キリンは、1本でも足が
なくなると生きてはゆけません。
動物園の人たちは、たいように義足をつけることにしました。



「飛行機の大研究」

ヒサ クニヒコ / 作 PHP研究所

人々は長い間、空を飛ぶことを夢みていました。そしていまから
100年ほど前に、はじめてライト兄弟によって飛行機が発明されました。
人類は今では、ロケットで宇宙を目指しています。
いつか人間は動物や植物もつれて、他の星へ行けるかもしれませぬね。



4月23日(金)～5月12日(水)

どくしょしゅうかん
こどもの読書週間

第30回 読んでみよう
子どもの本の展示会

ひょうご
<標語>

漕ぎだせ！
本の海へ！



1年間に出版された中から400冊を展示します。

毎日、読み聞かせをしています。みんなで来てね！

場所：ちゅうおうかん7かい とくべつしつ

時間：午前9時30分～午後5時

シリーズしょうかい

「白いはらのこどもたち」

たかどの ほうこ / 作 理論社

のはらおばさんは、おもしろいものがいっぱい雪の野原にやってきました。



「ねずくとらくんのさむいさむいさむい」

たるいし まこ / 作 福音館書店

ある朝、ねずくとらくんが外へでてみると、いちめんの雪げしき。

めがみ
「女神に守られて
女騎士アランナ」

タモラ・ピラス / 作 PHP 研究所

男の子になりすまして

騎士になったアランナは

王子に正体をみやぶられます。

「チョコブラウニーですなおい笑顔」

令丈 ヒロ子 / 作 理論社

パパが、妹のレミばかりかわいがって、おもしろくない！

そんな時は、ピチと一緒にいっしょにおなやみかけつけくッキング。

「ロータスの森の伝説5 最後の決戦」

さとう まきこ / 作 理論社

ミドは、ついに闇の王ルシフェルと

対決することになります。

やくものくに かっせん
「八雲国の大合戦 大あばれ山賊小太郎」

那須 正幹 / 作 偕成社

おろち山の隠れ里に、なぞの僧や落ち武者が次々あらわれるのは、なぜ？ シリーズ完結編です。

4 がつ

おやすみの日

4月1日(木)

4月 5日(月)

4月12日(月)

4月19日(月)

4月26日(月)

4月29日(木・祝日)